

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	特化型
信託期間	2025年3月14日まで（2015年3月20日設定）	
運用方針	<p>円建ての外国投資信託であるAMP オーストラリアリート ファンドの投資信託証券への投資を通じて、主としてオーストラリアの不動産投資信託証券への実質的な投資に加えて、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を実質的に活用します。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。</p> <p>不動産投資信託証券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドが行います。また、カバード・コール戦略の運用は、クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッドが行います。</p>	
主要運用対象	三菱UFJ/AMPオーストラリアREITファンド<Wプレミアム>（毎月決算型）	AMP オーストラリア リート ファンドおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	AMPオーストラリアリートファンド	オーストラリアの不動産投資信託証券、ならびに円に対する豪ドルのコール・オプション取引およびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプション取引を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への直接投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第3計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
 - ファンドは、オーストラリアの不動産投資信託証券に実質的に投資します。オーストラリアの不動産投資信託証券には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。
- * 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ/AMP オーストラリア REITファンド <Wプレミアム>（毎月決算型）

愛称：コアランド



第43期（決算日：2018年10月15日）
 第44期（決算日：2018年11月15日）
 第45期（決算日：2018年12月17日）
 第46期（決算日：2019年1月15日）
 第47期（決算日：2019年2月15日）
 第48期（決算日：2019年3月15日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>（毎月決算型）」は、去る3月15日に第48期の決算を行いましたので、法令に基づいて第43期～第48期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 券 債 券 投 資 信 託 純 資 産 組 入 比 率 先 物 比 率 証 組 入 比 率 総 額	純 資 産 額		
	(分配落)	税 分 込 配 金	期 騰 落 中 率				
	円	円	%	%	%	百万円	
19期(2016年10月17日)	7,443	130	2.9	0.0	—	99.0	11,254
20期(2016年11月15日)	6,880	130	△5.8	0.0	—	99.0	10,357
21期(2016年12月15日)	7,337	130	8.5	0.0	—	99.0	10,925
22期(2017年1月16日)	7,247	130	0.5	0.0	—	99.0	10,603
23期(2017年2月15日)	7,303	130	2.6	0.0	—	99.0	10,367
24期(2017年3月15日)	6,978	130	△2.7	0.0	—	99.0	9,408
25期(2017年4月17日)	7,025	130	2.5	0.0	—	99.4	9,119
26期(2017年5月15日)	6,755	130	△2.0	—	—	98.0	8,510
27期(2017年6月15日)	6,649	130	0.4	—	—	98.4	7,943
28期(2017年7月18日)	6,213	130	△4.6	—	—	99.0	7,117
29期(2017年8月15日)	6,047	130	△0.6	—	—	99.0	6,743
30期(2017年9月15日)	6,163	130	4.1	—	—	99.1	6,654
31期(2017年10月16日)	6,019	130	△0.2	—	—	99.2	6,299
32期(2017年11月15日)	6,024	100	1.7	—	—	99.4	6,017
33期(2017年12月15日)	6,098	100	2.9	—	—	99.2	5,833
34期(2018年1月15日)	5,746	100	△4.1	—	—	99.3	5,281
35期(2018年2月15日)	5,144	100	△8.7	—	—	99.4	4,553
36期(2018年3月15日)	5,121	100	1.5	—	—	99.1	4,423
37期(2018年4月16日)	4,998	100	△0.4	—	—	99.1	4,188
38期(2018年5月15日)	5,054	100	3.1	—	—	99.3	4,162
39期(2018年6月15日)	5,031	100	1.5	—	—	99.0	4,086
40期(2018年7月17日)	5,105	100	3.5	—	—	99.4	4,034
41期(2018年8月15日)	4,899	100	△2.1	—	—	99.2	3,825
42期(2018年9月18日)	4,879	100	1.6	—	—	99.1	3,695
43期(2018年10月15日)	4,450	100	△6.7	—	—	97.9	3,302
44期(2018年11月15日)	4,519	100	3.8	—	—	98.9	3,337
45期(2018年12月17日)	4,533	70	1.9	—	—	98.6	3,318
46期(2019年1月15日)	4,379	70	△1.9	—	—	98.6	3,209
47期(2019年2月15日)	4,534	70	5.1	—	—	98.5	3,316
48期(2019年3月15日)	4,609	70	3.2	—	—	98.5	3,333

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、オーストラリアの不動産投資信託証券への実質的な投資に加えて、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアの不動産投資信託証券のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を実質的に活用し値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	投 資 信 託 券 率
第43期	(期首) 2018年9月18日	円 4,879	% -		% -		% -		% 99.1	
	9月末	4,841	△0.8		-		-		99.2	
	(期末) 2018年10月15日	4,550	△6.7		-		-		97.9	
第44期	(期首) 2018年10月15日	4,450	-		-		-		97.9	
	10月末	4,540	2.0		-		-		98.6	
	(期末) 2018年11月15日	4,619	3.8		-		-		98.9	
第45期	(期首) 2018年11月15日	4,519	-		-		-		98.9	
	11月末	4,617	2.2		-		-		98.5	
	(期末) 2018年12月17日	4,603	1.9		-		-		98.6	
第46期	(期首) 2018年12月17日	4,533	-		-		-		98.6	
	12月末	4,365	△3.7		-		-		96.6	
	(期末) 2019年1月15日	4,449	△1.9		-		-		98.6	
第47期	(期首) 2019年1月15日	4,379	-		-		-		98.6	
	1月末	4,554	4.0		-		-		98.6	
	(期末) 2019年2月15日	4,604	5.1		-		-		98.5	
第48期	(期首) 2019年2月15日	4,534	-		-		-		98.5	
	2月末	4,546	0.3		-		-		98.9	
	(期末) 2019年3月15日	4,679	3.2		-		-		98.5	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

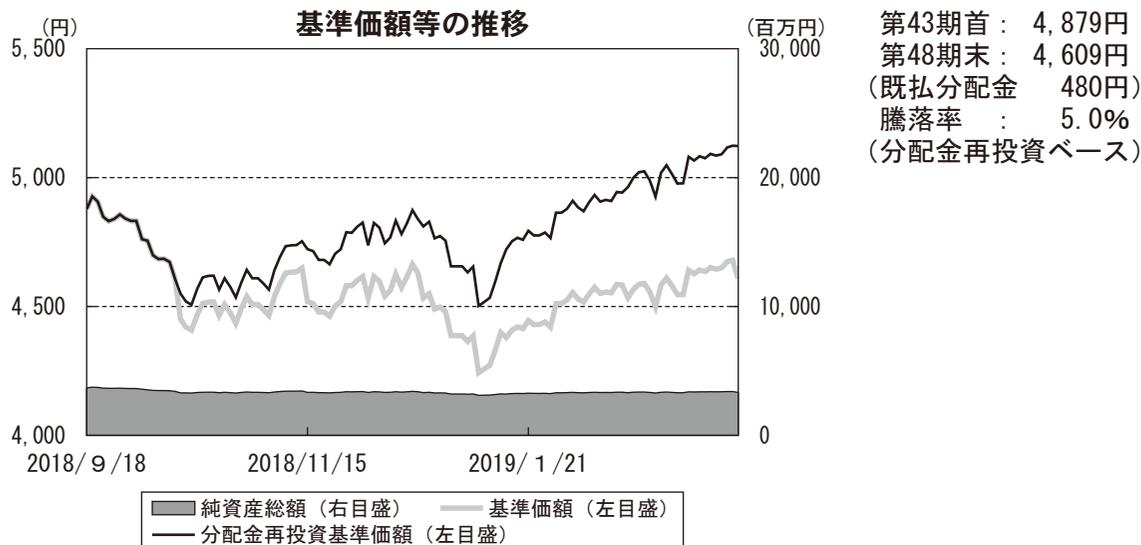
(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第43期～第48期：2018/9/19～2019/3/15）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ5.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

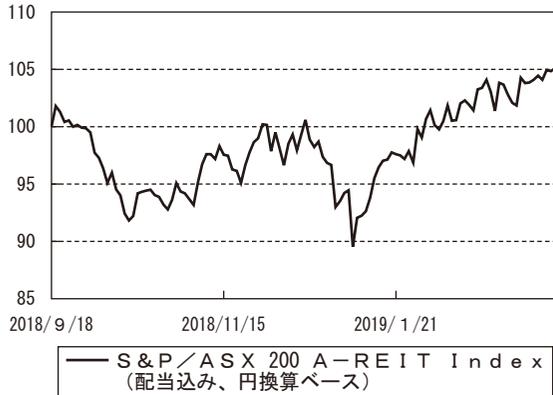
基準価額の主な変動要因

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアREIT市況のローカルベースでの上昇が基準価額の上昇要因となりました。 ・オプション・プレミアム収入を獲得したことが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・豪ドルが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。 ・オーストラリアのREIT指数のコール・オプションの売却に係る損失などが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第43期～第48期：2018/9/19～2019/3/15)

(ご参考)

オーストラリアREIT市況の推移
(当作成期首を100として指数化)

(注) S&P/ASX 200 A-REIT Indexとは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所の上場不動産投資信託の値動きを示す代表的な指数の1つです。S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)とは、S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。S&P/ASX 200 A-REIT IndexはS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJI」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's[®]およびS&P[®]はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S&P」)の登録商標で、Dow Jones[®]はDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P/ASX 200 A-REIT Indexの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

◎オーストラリアREIT市況

・当作成期首から2018年10月にかけては、世界的にリスク回避的な動きが強まったことや、同国の住宅市場に対する不透明感の高まりなどを背景に下落しました。11月から12月中旬にかけては一時的に上昇したものの、12月中旬から下旬にかけては、米株式市場の急落を受けた投資家心理の悪化などから下落しました。その後は、豪州連邦準備銀行(RBA)による利下げ観測の台頭などを受けた長期金利の低下や、大手工業用リートを中心とした決算内容などが好感されたことから上昇し、当作成期を通してみるとオーストラリアREIT市況は上昇しました。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・当作成期首から2018年10月下旬にかけては、米株式市場の急落を受けた投資家心理の悪化などを背景に、豪ドルは対円で下落しました。10月下旬から11月は、RBAが発表した四半期金融政策報告の内容などを背景に豪ドルは対円で一時的に上昇したものの、12月は世界景気の先行き不透明感などからリスク回避的な動きが強まり、豪ドルは対円で下落しました。その後は、金融市場や米中通商・政治問題への警戒感が一部後退したことなどから投資家心理が改善し、豪ドルは対円で上昇したものの、当作成期を通してみると豪ドルは対円で下落しました。

◎国内短期金融市場

- ・当作成期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年3月15日のコール・レートは-0.021%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

<三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>（毎月決算型）>

- ・外国投資信託であるAMP オーストラリア リート ファンドを高位に組み入れた運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

<AMP オーストラリア リート ファンド>

基準価額は当作成期首に比べ5.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

- ・オーストラリアのREITを高位に組み入れる運用を行うとともに、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアのREIT指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を活用する運用を行いました。
- ・投資するREITについては、中長期的な不動産価値の向上による恩恵が期待される、店舗用の優良な物件を重視しながら、オフィス用REITについては都市毎の経済環境によって選別的な運用を行いました。
- ・個別銘柄では、オーストラリアなどで物流施設などを手掛ける工業用REITの「GOODMAN GROUP」や、シドニーに所在するオフィス用不動産などを手掛けるオフィスREITの「DEXUS」などが上昇しました。
- ・当作成期においては、豪ドルが対円で下落したことや、オーストラリアのREIT指数のコール・オプションの売却に係る損失などがマイナスとなったものの、オプション・プレミアム収入を獲得したことや、オーストラリアREIT市況がローカルベースで上昇したことなどがプラスとなり、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

下記は、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドの資料（現地月末前営業日基準）に基づき作成したAMP オーストラリア リート ファンドの不動産投資信託証券部分の状況です。

(ご参考)

用途別構成比

2019年2月末

	用途	比率
1	各種・分散投資型	33.5%
2	店舗用	28.2%
3	工業用	23.5%
4	オフィス	12.8%
5	専門・その他投資型	1.9%

(注) 比率はREIT評価額に対する割合です。

(注) GICS（世界産業分類基準）に基づいてAMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドの分類で表示しています。

下記は、クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッドの資料（現地月末前営業日基準）に基づき作成したAMP オーストラリア リート ファンドのカバード・コール戦略部分の状況です。

(ご参考)

ポートフォリオ特性

2019年2月末

【通貨カバード・コール戦略】

オプション・プレミアム	6.3%
カバー率	50.4%
平均権利行使価格	99.8%
平均権利行使期間	28日

【豪リート カバード・コール戦略】

オプション・プレミアム	8.3%
カバー率	50.4%
平均権利行使価格	102.1%
平均権利行使期間	28日

・オプション・プレミアムは、円建外国投資信託の純資産総額に対する年率調整後のプレミアム収入です。

・カバー率は、円建外国投資信託の純資産総額に対するオプションのポジションです。

・平均権利行使価格は、原資産価格に対する権利行使価格の水準（現地月末前営業日基準）です。

・平均権利行使期間は、オプション権利行使日までの平均日数です。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ横ばいとなりました。

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は横ばいとなりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、オーストラリアの不動産投資信託証券への実質的な投資に加えて、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を実質的に活用し値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額的水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	2018年9月19日～ 2018年10月15日	2018年10月16日～ 2018年11月15日	2018年11月16日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月15日	2019年2月16日～ 2019年3月15日
当期分配金	100	100	70	70	70	70
(対基準価額比率)	2.198%	2.165%	1.521%	1.573%	1.520%	1.496%
当期の収益	73	70	69	69	70	70
当期の収益以外	26	29	0	0	—	—
翌期繰越分配対象額	888	859	859	858	862	868

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

<三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)>

◎今後の運用方針

- ・外国投資信託への投資を通じてオーストラリアのREITを高位に組み入れ、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざします。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行います。

<AMP オーストラリア リート ファンド>

◎運用環境の見通し

- ・オーストラリアREITについては、国内経済の緩やかな成長に加え、テナントからの安定的な需要や主要都市の物件供給が限定的であることなどが実物不動産市場を下支えするとみており、事業環境が良好な工業用不動産やシドニーやメルボルンなどの都市に所在するオフィス不動産のファンダメンタルズは良好な状態です。店舗用不動産に関しては、米国のオンライン小売り大手企業がオーストラリアで本格的にサービスを展開したことなどからその影響を注視しています。ただし、大手リートが直近に発表した業績見通しなどではテナントの売上高の回復などが示されているほか、小売りの事業環境に対する過度な懸念が幾分後退しつつあることから投資家心理が改善し、当ファンドでは、エンターテインメント性を有する集客力の高い店舗用不動産を保有する銘柄を愛好しています。また、店舗用リートのバリュエーション水準は割安感があるとみています。引き続き、不動産開発や賃貸収益の成長などを背景とした堅調な不動産ファンダメンタルズなどがリート価格を下支えする要因になるとみています。

◎今後の運用方針

- ・運用については、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。セクター別では、持続的な賃料の上昇が期待されるオフィス用REITに注目しているほか、個別銘柄では、高い物件開発能力を有する銘柄に注目しています。
- ・また、円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアのREIT指数のコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、カバード・コール戦略を活用します。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年9月19日～2019年3月15日)

項 目	第43期～第48期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(9)	(0.195)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.316)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	24	0.526	
作成期中の平均基準価額は、4,557円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年9月19日～2019年3月15日)

投資信託証券

銘 柄	第43期～第48期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
国内	千口	千円	千口	千円
AMP オーストラリア リート ファンド	109	449,426	157	665,600

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2018年9月19日～2019年3月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年3月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第42期末		第48期末			
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
			千口		千口	千円	%
AMP オーストラリア リート ファンド			818		769	3,283,869	98.5
合	計		818		769	3,283,869	98.5

(注) 比率は三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型) の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	第42期末		第48期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
マネー・マーケット・マザーファンド			11,293		11,293	11,500

○投資信託財産の構成

(2019年3月15日現在)

項	目	第48期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
投資信託受益証券		3,283,869	96.2
マネー・マーケット・マザーファンド		11,500	0.3
コール・ローン等、その他		116,961	3.5
投資信託財産総額		3,412,330	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末	第48期末
	2018年10月15日現在	2018年11月15日現在	2018年12月17日現在	2019年1月15日現在	2019年2月15日現在	2019年3月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,382,859,945	3,428,126,137	3,385,445,658	3,263,461,761	3,371,502,569	3,412,330,241
コール・ローン等	133,754,709	115,708,514	101,787,954	88,112,065	92,299,026	93,560,830
投資信託受益証券(評価額)	3,235,105,236	3,300,917,623	3,272,157,704	3,163,849,696	3,267,703,543	3,283,869,411
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	11,500,000	11,500,000	11,500,000	11,500,000	11,500,000	11,500,000
未収入金	2,500,000	—	—	—	—	23,400,000
(B) 負債	79,913,610	90,702,563	66,577,766	54,068,864	54,898,438	78,649,318
未払収益分配金	74,218,416	73,856,057	51,251,473	51,307,212	51,200,071	50,630,042
未払解約金	2,835,733	13,774,759	12,150,039	—	680,401	25,248,911
未払信託報酬	2,850,702	3,062,187	3,166,494	2,752,892	3,008,764	2,761,999
未払利息	171	237	184	157	142	47
その他未払費用	8,588	9,323	9,576	8,603	9,060	8,319
(C) 純資産総額(A－B)	3,302,946,335	3,337,423,574	3,318,867,892	3,209,392,897	3,316,604,131	3,333,680,923
元本	7,421,841,623	7,385,605,783	7,321,639,046	7,329,601,741	7,314,295,962	7,232,863,259
次期繰越損益金	△4,118,895,288	△4,048,182,209	△4,002,771,154	△4,120,208,844	△3,997,691,831	△3,899,182,336
(D) 受益権総口数	7,421,841,623口	7,385,605,783口	7,321,639,046口	7,329,601,741口	7,314,295,962口	7,232,863,259口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,450円	4,519円	4,533円	4,379円	4,534円	4,609円

○損益の状況

項 目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	2018年9月19日～ 2018年10月15日	2018年10月16日～ 2018年11月15日	2018年11月16日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月15日	2019年2月16日～ 2019年3月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	57,668,826	53,265,878	53,612,810	53,445,086	54,431,373	56,210,213
受取配当金	57,671,061	53,269,382	53,615,357	53,449,200	54,433,735	56,211,706
受取利息	16	—	2	—	—	4
支払利息	△ 2,251	△ 3,504	△ 2,549	△ 4,114	△ 2,362	△ 1,497
(B) 有価証券売買損益	△ 298,899,078	73,986,644	10,823,686	△ 112,411,129	113,619,210	50,905,675
売買益	2,726,675	74,552,742	11,037,524	80,899	114,035,439	51,436,651
売買損	△ 301,625,753	△ 566,098	△ 213,838	△ 112,492,028	△ 416,229	△ 530,976
(C) 信託報酬等	2,859,290	△ 3,071,510	△ 3,176,070	2,761,813	△ 3,017,824	△ 2,770,318
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 244,089,542	124,181,012	61,260,426	△ 61,727,856	165,032,759	104,345,570
(E) 前期繰越損益金	△3,004,419,935	△3,273,410,630	△3,165,361,099	△3,139,894,367	△3,227,908,554	△3,057,821,533
(F) 追加信託差損益金	△ 796,167,395	△ 825,096,534	△ 847,419,008	△ 867,279,409	△ 883,615,965	△ 895,076,331
(配当等相当額)	(346,757,977)	(348,318,805)	(348,052,694)	(350,147,348)	(350,983,318)	(349,098,680)
(売買損益相当額)	(△1,142,925,372)	(△1,173,415,339)	(△1,195,471,702)	(△1,217,426,757)	(△1,234,599,283)	(△1,244,175,011)
(G) 計(D+E+F)	△4,044,676,872	△3,974,326,152	△3,951,519,681	△4,068,901,632	△3,946,491,760	△3,848,552,294
(H) 収益分配金	△ 74,218,416	△ 73,856,057	△ 51,251,473	△ 51,307,212	△ 51,200,071	△ 50,630,042
次期繰越損益金(G+H)	△4,118,895,288	△4,048,182,209	△4,002,771,154	△4,120,208,844	△3,997,691,831	△3,899,182,336
追加信託差損益金	△ 796,167,395	△ 825,096,534	△ 847,419,008	△ 867,279,409	△ 883,615,965	△ 895,076,331
(配当等相当額)	(346,757,977)	(348,318,805)	(348,052,694)	(350,147,348)	(350,983,318)	(349,098,680)
(売買損益相当額)	(△1,142,925,372)	(△1,173,415,339)	(△1,195,471,702)	(△1,217,426,757)	(△1,234,599,283)	(△1,244,175,011)
分配準備積立金	313,012,436	286,622,953	281,369,654	279,416,781	279,583,929	278,816,654
繰越損益金	△3,635,740,329	△3,509,708,628	△3,436,721,800	△3,532,346,216	△3,393,659,795	△3,282,922,659

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首(前作成期末)元本額 7,574,142,417円

 作成期中追加設定元本額 333,916,612円

 作成期中一部解約元本額 675,195,770円

 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4609円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,899,182,336円です。

③分配金の計算過程

項 目	2018年9月19日～ 2018年10月15日	2018年10月16日～ 2018年11月15日	2018年11月16日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月15日	2019年2月16日～ 2019年3月15日
費用控除後の配当等収益額	54,809,508円	51,980,108円	50,970,304円	50,683,242円	53,453,825円	54,756,320円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	346,757,977円	348,318,805円	348,052,694円	350,147,348円	350,983,318円	349,098,680円
分配準備積立金額	332,421,344円	308,498,902円	281,650,823円	280,040,751円	277,330,175円	274,690,376円
当ファンドの分配対象収益額	733,988,829円	708,797,815円	680,673,821円	680,871,341円	681,767,318円	678,545,376円
1万口当たり収益分配対象額	988円	959円	929円	928円	932円	938円
1万口当たり分配金額	100円	100円	70円	70円	70円	70円
収益分配金金額	74,218,416円	73,856,057円	51,251,473円	51,307,212円	51,200,071円	50,630,042円

○分配金のお知らせ

	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
1万口当たり分配金(税込み)	100円	100円	70円	70円	70円	70円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収(申告不要)されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ(<https://www.am.mufg.jp/>)をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されます。

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	AMP オーストラリア リート ファンド
運用方針	主としてオーストラリアの不動産投資信託証券に投資することにより、資産の中長期的な成長をめざします。また、原則として円に対する豪ドルのコール・オプションおよびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざします。
主要運用対象	オーストラリアの不動産投資信託証券、ならびに円に対する豪ドルのコール・オプション取引およびオーストラリアの不動産投資信託指数のコール・オプション取引
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアの不動産投資信託証券について、同一の発行体が発行する銘柄への投資比率は、純資産総額の35%以内とします。 ・オーストラリア国債への投資比率は、取得時において純資産総額の10%以内とします。 ・対円での為替ヘッジは行いません。
決算日	毎年9月30日
分配方針	原則として毎月分配を行う方針です。

AMP オーストラリア リート ファンド

運用計算書、純資産変動計算書、投資有価証券明細表は、入手可能なAUDITED ANNUAL REPORT SEPTEMBER 30, 2018版から抜粋して作成しています。

1. 運用計算書

(2017年10月1日～2018年9月30日)

	AMP オーストラリア リート ファンド 円
投資収入：	
純配当収入	172,516,355
預金利息	621,334
その他収益	146,299,288
	319,436,977
費用：	
管理費用、保管費用	(5,839,078)
代行費用、マネジャー費用	(9,342,172)
その他費用	(5,895,853)
その他税金	(2,508,944)
監査報酬	(1,678,889)
副マネージャー費用	(20,546,422)
副保管費用	(2,390,000)
受託費用	(372,469)
	(48,573,827)
投資純収入	270,863,150
実現純利益(損失)：	
実現純利益(損失) 投資有価証券	(150,368,043)
実現純利益(損失) その他資産、負債の外貨換算	(6,827,934)
実現純利益(損失) 為替予約	(3,501,829)
実現純利益(損失) オプション	(146,016,695)
	(306,714,501)
実現純利益(損失)	(306,714,501)
未実現評価益(評価損)の純変動：	
投資有価証券	49,713,901
為替予約	(217,527)
その他資産、負債の外貨換算	1,192,653
オプション	(36,134,669)
	14,554,358
運用による純資産の純増(減)額	(21,296,993)

(注) データ提供元：クレディ・スイス・マネジメント(ケイマン) リミテッド

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

2. 純資産変動計算書

(2017年10月1日～2018年9月30日)

AMP オーストラリア
リート ファンド
円

期首純資産	6,445,396,335
投資純収入	270,863,150
実現純利益(損失) :	
実現純利益(損失) 投資有価証券	(150,368,043)
実現純利益(損失) その他資産、負債の外貨換算	(6,827,934)
実現純利益(損失) 為替予約	(3,501,829)
実現純利益(損失) オプション	(146,016,695)
	(306,714,501)
未実現評価益(評価損)の純変動 :	
投資有価証券	49,713,901
為替予約	(217,527)
その他資産、負債の外貨換算	1,192,653
オプション	(36,134,669)
	14,554,358
出資	946,098,361
償還	(2,839,950,000)
分配金額	(920,898,361)
	(2,814,750,000)
期末純資産	3,609,349,342

(注) データ提供元 : クレディ・スイス・マネジメント (ケイマン) リミテッド

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

3. 投資有価証券明細表

(2018年9月30日現在)

(円で表示)

銘柄	通貨	口数	取得原価	市場価格	対純資産比率 (%)
TRANSFERABLE SECURITIES ADMITTED TO AN OFFICIAL STOCK EXCHANGE OR DEALT IN ON ANOTHER REGULATED MARKET					
REAL ESTATE INVESTMENT TRUST					
<i>AUSTRALIA</i>					
ABACUS PROPERTY GROUP	AUD	208,257	58,620,406	58,363,796	1.62%
BWP TRUST	AUD	111,722	29,170,433	30,667,240	0.85%
CENTURIA METROPOLITAN REIT	AUD	137,330	28,040,285	28,554,560	0.79%
CHARTER HALL GROUP	AUD	335,389	156,893,248	197,356,465	5.47%
CHARTER HALL LONG WALE REIT	AUD	150,044	52,423,415	51,791,377	1.43%
CHARTER HALL RETAIL REIT	AUD	201,397	67,795,130	70,179,191	1.94%
DEXUS	AUD	410,826	303,375,259	356,542,567	9.88%
GOODMAN GROUP	AUD	788,889	485,780,234	671,684,260	18.61%
INVESTA OFFICE FUND	AUD	135,104	50,109,513	61,291,015	1.70%
MIRVAC GROUP	AUD	1,390,421	257,679,240	275,393,006	7.63%
NATIONAL STORAGE REIT	AUD	391,443	54,644,678	53,724,765	1.49%
SCENTRE GROUP	AUD	2,272,649	814,579,605	741,502,135	20.55%
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA PROPERTY GROUP	AUD	429,721	79,878,996	84,759,301	2.35%
STOCKLAND	AUD	785,862	319,827,497	268,030,321	7.43%
THE GPT GROUP	AUD	645,254	271,483,948	276,285,417	7.65%
VICINITY CENTRES	AUD	924,193	251,913,953	199,000,184	5.51%
			3,282,215,840	3,425,125,600	94.90%
<i>FRANCE</i>					
UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIELD	AUD	152,157	370,543,102	176,569,692	4.89%
			370,543,102	176,569,692	4.89%
TOTAL INVESTMENTS IN SECURITIES			3,652,758,942	3,601,695,292	99.79%
CASH AT BANKS				17,827,412	0.49%
INVESTMENTS IN OPTIONS				(46,628,767)	-1.29%
OTHER NET ASSETS				36,455,405	1.01%
TOTAL NET ASSETS				3,609,349,342	100.00%

マネー・マーケット・マザーファンド

《第28期》決算日2018年11月20日

[計算期間：2018年5月22日～2018年11月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、11月20日に第28期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第28期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産額
24期(2016年11月21日)	10,184	0.0	24.4	—	4,420
25期(2017年5月22日)	10,184	0.0	—	—	1,681
26期(2017年11月20日)	10,184	0.0	—	—	1,266
27期(2018年5月21日)	10,184	0.0	—	—	1,269
28期(2018年11月20日)	10,183	△0.0	—	—	1,882

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率
(期首) 2018年5月21日	10,184	—	—	—
5月末	10,184	0.0	—	—
6月末	10,184	0.0	—	—
7月末	10,184	0.0	—	—
8月末	10,184	0.0	—	—
9月末	10,183	△0.0	—	—
10月末	10,183	△0.0	—	—
(期末) 2018年11月20日	10,183	△0.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

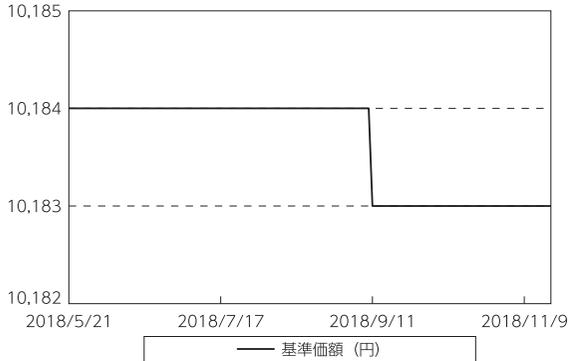
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.01%の下落となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2018年11月20日のコール・レートは-0.066%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は下落となりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年5月22日～2018年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,183円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年5月22日～2018年11月20日)

その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 164,899,918	千円 164,299,921

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2018年5月22日～2018年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年11月20日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 1,799,999	% 95.6

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2018年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 1,799,999	% 95.6
コール・ローン等、その他	82,984	4.4
投資信託財産総額	1,882,983	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,882,983,572
コール・ローン等	82,984,049
其他有価証券(評価額)	1,799,999,523
(B) 負債	140,959
未払解約金	140,557
未払利息	167
其他未払費用	235
(C) 純資産総額(A-B)	1,882,842,613
元本	1,848,959,925
次期繰越損益金	33,882,688
(D) 受益権総口数	1,848,959,925口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,246,790,223円
 期中追加設定元本額 891,597,773円
 期中一部解約元本額 289,428,071円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0183円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	334,544,012円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	2,280,337円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	5,874,002円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,048,688円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	111,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	20,147,276円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	52,804,813円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	635,856円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	3,078,471円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	149,179,043円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,620円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	16,402,315円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	2,272,200円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	15,211,722円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	270,734円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	667,045円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	275,663円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	1,049,877円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	5,850,843円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	2,016,707円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	1,970,066円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,513,806円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,182,898円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	84,006,970円

○損益の状況 (2018年5月22日~2018年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 29,356
受取利息	3,679
支払利息	△ 33,035
(B) 保管費用等	△ 235
(C) 当期損益金(A+B)	△ 29,591
(D) 前期繰越損益金	22,896,956
(E) 追加信託差損益金	16,324,880
(F) 解約差損益金	△ 5,309,557
(G) 計(C+D+E+F)	33,882,688
次期繰越損益金(G)	33,882,688

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	847,016円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	600,566円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	992,946円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	1,979,971円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	140,355円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	990,683円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	19,635,282円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	6,336,371円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	11,400,264円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,368円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	12,561,714円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	50,290円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	99,465円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	69,757円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	30,457円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	641,668円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,559,264円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	4,881,309円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	7,717,476円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	348,598円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	5,504,257円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	13,128,307円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	2,424,660円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	9,340,694円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	3,123,514円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	6,722,976円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルールコース> (毎月分配型)	13,206,980円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	2,304,081円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	4,117,720円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	421,681円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	961,645円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	734,038円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルールコース> (年2回分配型)	1,043,194円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドA>	37,783,200円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドB>	979,528円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	5,144,832円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,859,081円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,609,969円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	40,261円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	50,083円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	3,828,727円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円

三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	109,051円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	8,478,079円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	4,145,749円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	8,067,104円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	3,319,056円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	20,075,917円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	5,899,118円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	10,826,836円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	2,026,238円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	128,636円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	79,540円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,375,824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	698,261円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491,015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	564,702円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89,371円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ ターゲット・イヤール・ファンド2030 (確定拠出年金)	2,399,448円
マクロー・トータル・リターン・ファンド	9,820円
スマート・プロテクター90 (限定追加型) 2016-12	6,313,826円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジあり)	412,412円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジなし)	1,188,139円
スマート・プロテクター90オープン	981,933円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	609,781円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	305,382円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49,097円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,683,229円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (年2回決算型)	17,656,128円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	5,843,481円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (年2回決算型)	25,393,755円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	36,457円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	87,384円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9,820円
北欧小型株ファンド (為替ヘッジあり)	9,821円
北欧小型株ファンド (為替ヘッジなし)	9,821円
N a v i o インド債券ファンド	296,406円
N a v i o マネーボールファンド	5,223,339円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11,293,333円
マネーボールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	9,988,373円
MUAMトピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	6,042,045円

ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド（毎月分配型）	11,784,347円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース（為替ヘッジなし）	10,766,608円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース（為替ヘッジあり）	21,620,196円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2020	417,607,779円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020	225,031,917円
合計	1,848,959,925円